



トヨタ自動車北海道(株)

安全の取り組みについて

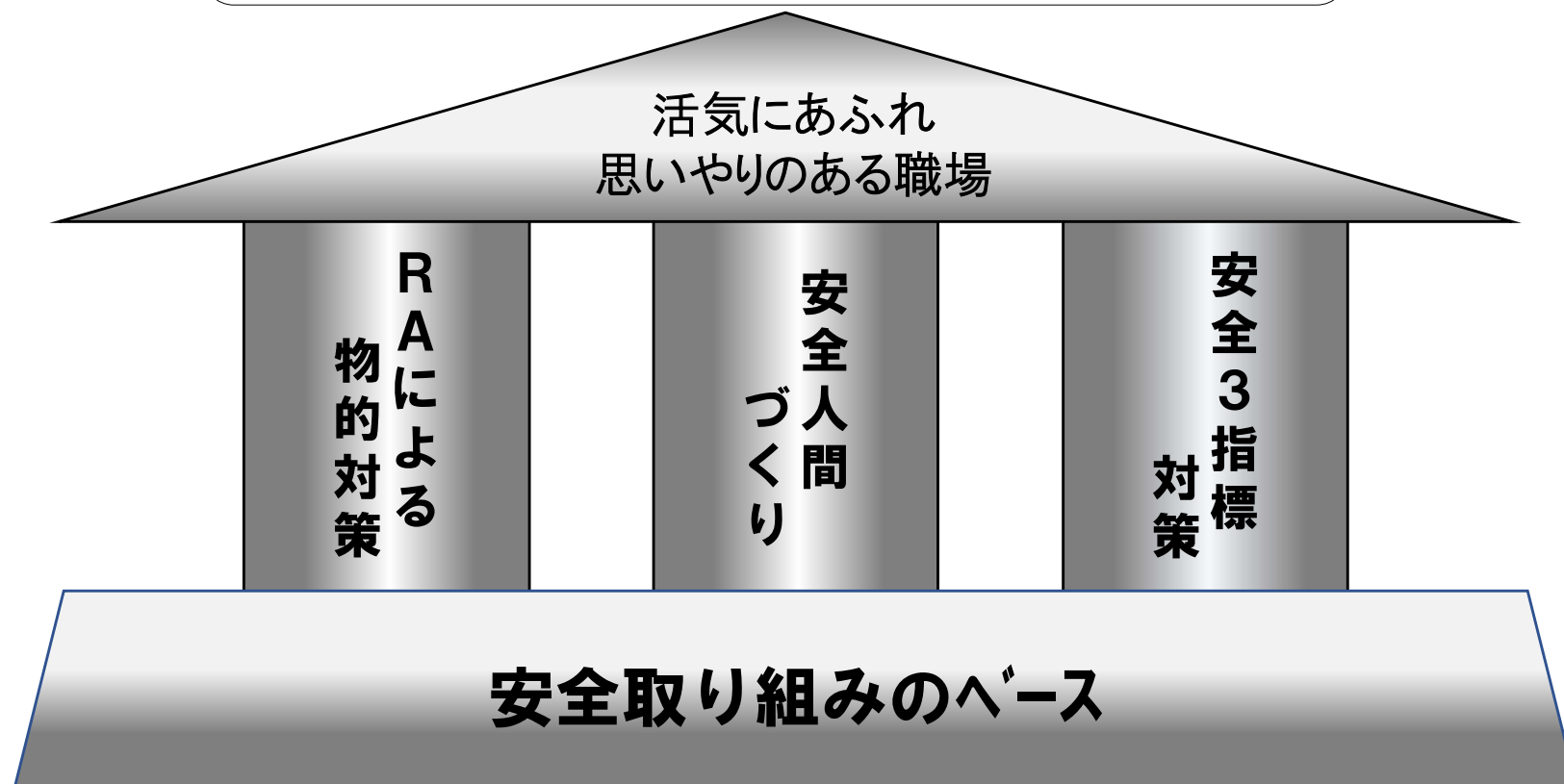
トヨタ自動車北海道株式会社安全方針

トヨタ自動車北海道に働く全ての人の安全と健康を守る事は、
経営の根幹であり、社会的責任であるという認識に基づいて、
『 安全は全てに優先する 』『 健康は全ての活動のベース 』
を会社方針の筆頭に掲げ、安全で快適な職場づくりおよび
心身の健康づくりを積極的に推進し、『 災害ゼロ 』の達成と
『 明るく元気でイキイキと働く 』ことを目指しています。

目指すべき姿

一緒に働く全ての人の災害をゼロにすべく安全文化・風土の真の定着を目指す為には安全の取り組みのベース活動に加え、安全な人間づくり、RAと安全3指標に代表される安全な環境づくりの柱及びそれらを一括管理する体制が整い実現され则认为しています。

一緒に働く全ての人の災害ゼロ 安全文化・風土の真の定着



方針

目指すべき姿の実現に向け“トヨタ自動車北海道 2025年ビジョン”を掲げ、
安全課題に対する方針を策定し、活動しています。

2025年 ビジョン

- チームトヨタそして北海道になくてはならない会社になる
・活気に溢れ思いやりのある職場をつくる

年度 重点方針

- 全ての人が自分事として安全・健康を最優先する文化・風土・人づくり

安全方針

- 安全・健康を最優先に一人ひとりが全員参加、自分事として意識・行動変革を！

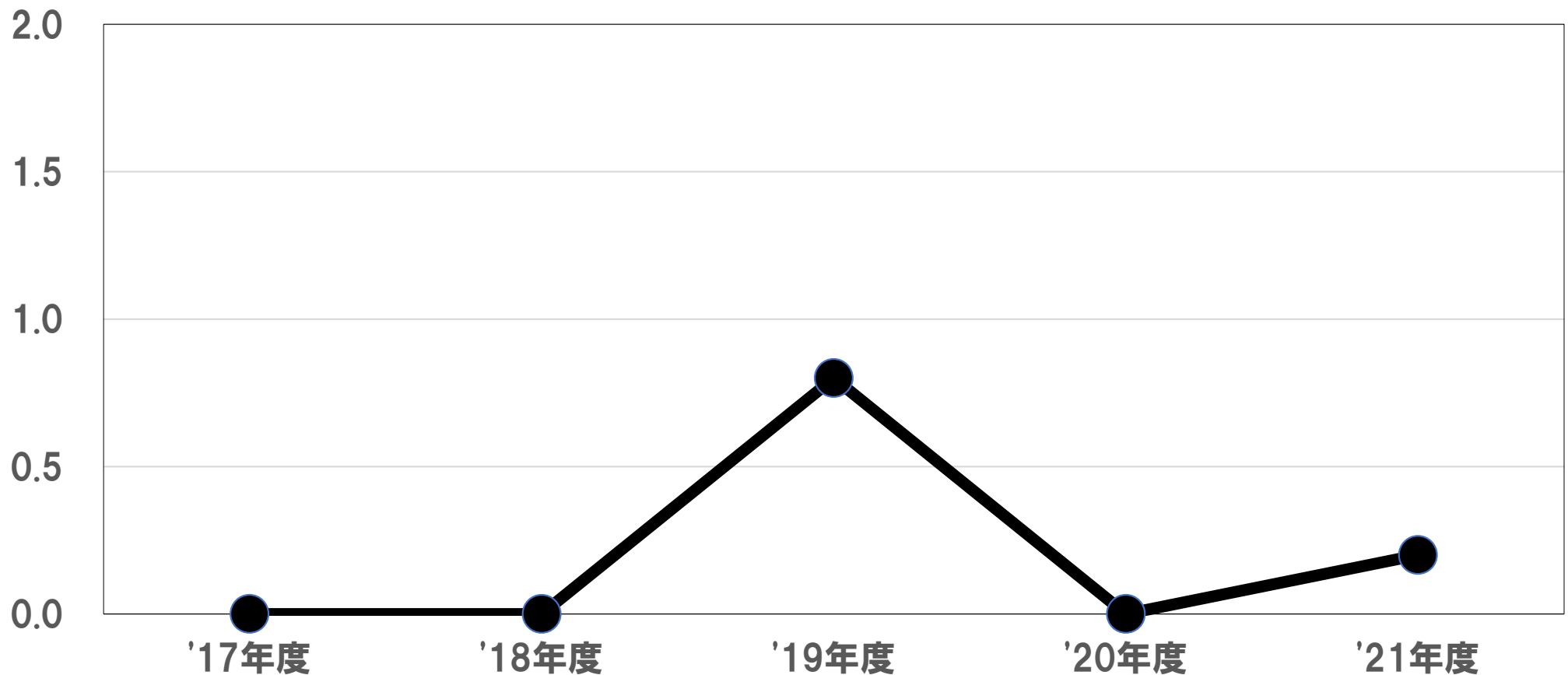
各部・室 方針

- 上位方針にもとづき、職場の実態にあわせて方針策定

安全成績の推移

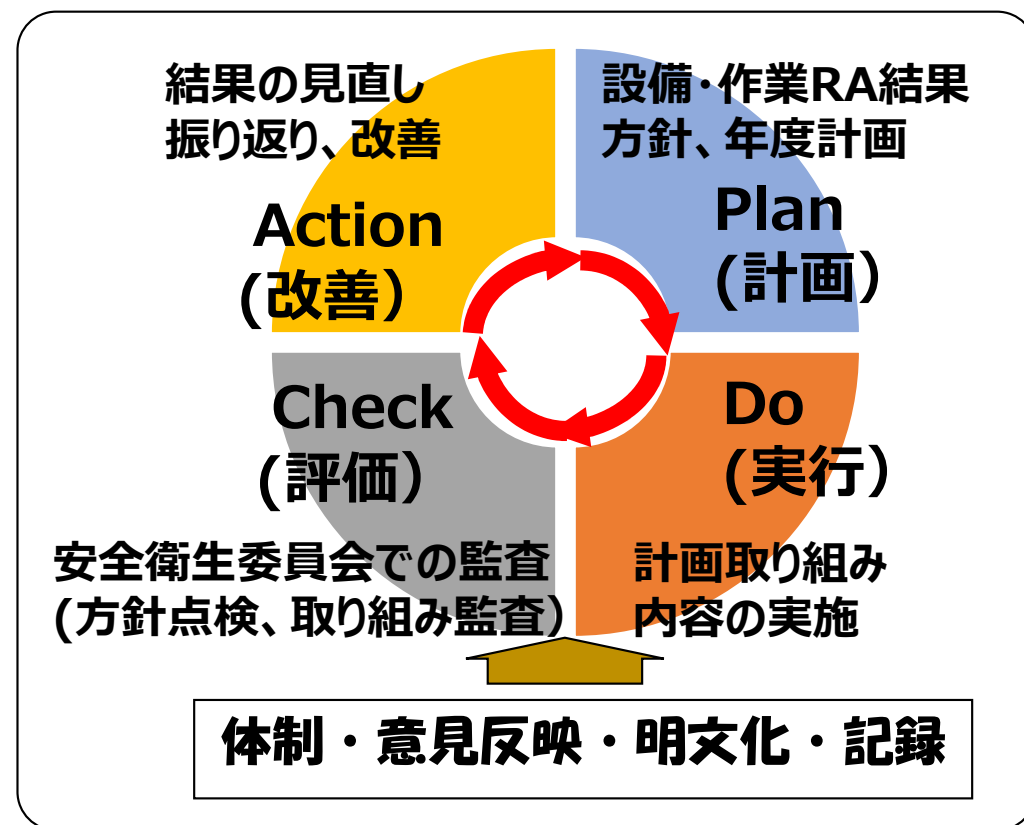
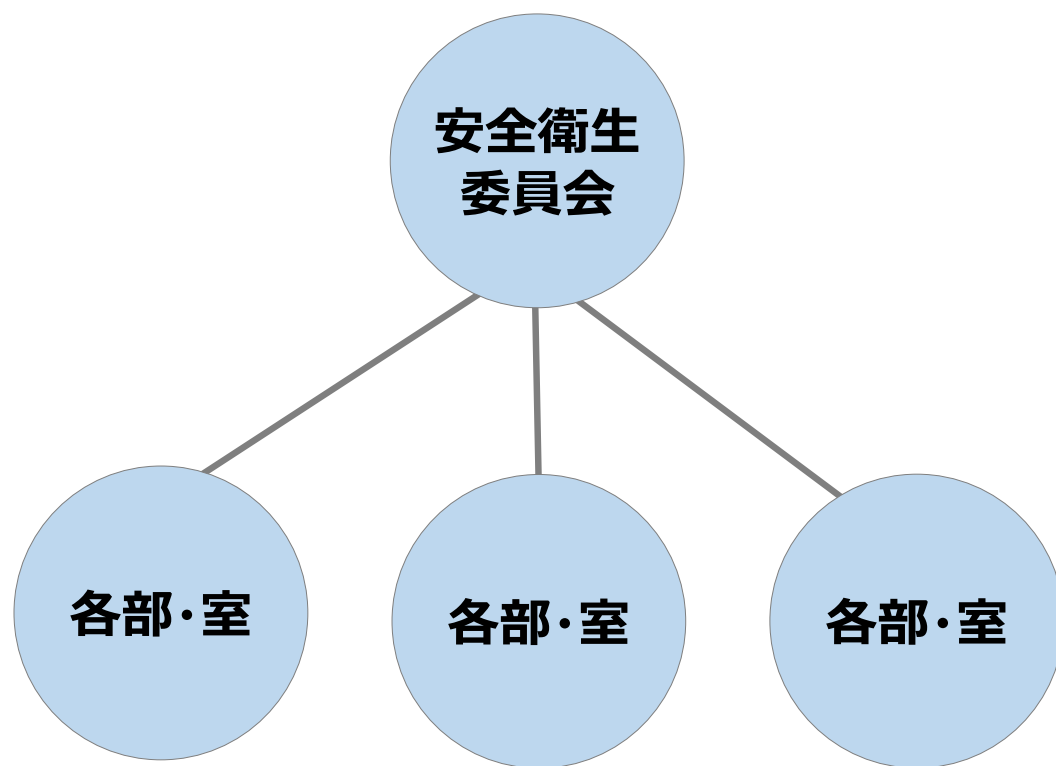
2019年度に休業災害が多くありましたが減少傾向となっています。

休業度数率推移



安全な職場環境実現のための推進体制

労働災害防止の取り組みや日々安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指し、労使一体となって改善、予防に取り組む安全衛生委員会にて各種安全・健康施策の審議、実施結果の評価や報告を行いスパイラルUPしてまいります。



■ 部・室・課長や衛生管理者を中心に取り組みを推進

安全活動（基本の徹底、安全意識・感性の維持向上、コミュニケーション充実を狙って）

1：安全取り組みのベース

【安全教育の充実】

- ・当社へ入社する全ての人への安全教育、ものづくり道場での危険体感を実施。



ものづくり道場での教育・体感

【安全ヒヤリ提案制度】

- ・作業中ヒヤリとしたこと、想定ヒヤリ、やりにくい作業提案から、物的・人的対策及び対策を通じた上司とのコミュニケーションと改善を実施。

【安全専念時間の設定】

- ・昼休み後の安全専念時間で職制が作業を観察、指導・啓発を通じ共に働く仲間とのコミュニケーション実施。



2：安全な人づくり、機械・設備対策およびそれらの管理体制整備 【安全人間づくり活動】

- ・風土改革：コミュニケーションの第1歩である**あいさつ**の励行。
- ・安全行動の徹底：安全行動ができるよう次の行動に対し一呼吸おく**指差呼称**の徹底。
- ・安全感性向上：4RKYTの内、まずは1Rに特化した**危険予知**能力向上及び体感機、VRの充実。
- ・面談等による教育・指導：安全個人別レベルUP評価シートを用いて**寄り添い**のある定期面談の実施。



指差呼称・あいさつ啓発活動



全社安全大会での啓発

【リスクアセスメントによるリスクダウン活動】

- ・リスクの高い設備、作業において全員参加でリスクダウン活動を実施。
- ・作業評価規定(ELG)での評価を基にした作業疾病の軽減対策。

【安全3指標の対策活動】

- ・やりにくい作業、止めるとできない作業、頻発停止の物的対策活動の実施。



リスクダウン活動

3：仕入先様の安全確保に向けて

【構内での外来工事、輸送、荷役における災害防止活動】

- ・連休毎の安全衛生大会、定期パトロール他により構内で働く全ての方へ安全管理向上推進。
- ・TBM（Tool Box Meeting）による過去災害展開での類似災害防止。
- ・休日の仕入先様（外来工事業者様）の困りごとの吸い上げ。
- ・仕入先様へのものづくり道場での体感教育。



連休工事毎の安全衛生大会



ものづくり道場でのVR体感

**これらの活動を通して、私どもは全社一丸となって、
安全最優先の環境の実現により、
一緒に働く全員が、災害のない、明るく元気で
いきいきと働くことができる職場づくりを
進めてまいります。**